

## 給食会だより

# 米の生産地訪問報告 青森県・秋田県・山形県

本会取り扱いの米穀のうち、精米（青森県産つがるロマン6割、秋田県産あきたこまち4割）、無洗米青森県産つがるロマン、無洗米秋田県産あきたこまち及び無洗胚芽精米（山形県産はえぬき）は、10月24日(月)より23年産の新米をお届けしております。



カントリーエレベーター

本会では9月下旬に青森県、秋田県及び山形県の各生産地へ行きJA関係者、生産者から生育状況、安全・安心への取り組みを聴取するとともに関連施設の確認を行ってまいりましたので、ご紹介します。

いずれの生産地も生育状況につきましては、今年5月下旬の低温・日照不足による影響を受け、茎数（穂数）がやや少なく、初期生育の遅れが心配されたそうです。しかし、その後は好天に恵まれたことに加え、茎数（穂数）が少ないため米に養分がいきわたったことで、品質・味の面では良い結果となる反面、収穫量は、平年に比べやや少ないものとなりました。



刈取り直前の様子

栽培方法については、いずれの生産地も、安全・安心な米づくりに取り組んでおり、特に本会が学校

等にお届けしているお米は、青森県では「青森クリーンライス」、秋田県では「あきたecoらいす」と呼ばれる栽培基準をクリアしたもので、農薬の使用回数を慣行栽培の半分以下で栽培されたものです。

今年、東日本大震災の影響による津波等の影響を受けた宮城県から日本海側の秋田県に変更しましたので、訪問した秋田県のプロducersの取り組みをご紹介します。

米どころ秋田県の中でも、特においしい優良産地と言われる秋田県仙北郡美郷町の生産者照井さんは、天候に左右されない美味しい米づくりに取り組み、秋田県うまい米づくり運動で度々最優秀賞を受賞しているそうです。

照井さんは、土づくりにこだわることから有機肥料を使用したり稲刈り後の稲わらを田んぼへ還元するなどして、必要のない化学肥料や農薬を排除した米づくりに取り組み、多くの仲間と実践しているとのことでした。このように、慣行栽培に比べ労力を必要とする栽培方法の熱心な話を聞き、安全な米づくりに対する熱意を感じ取ることができました。



生産者の照井さん

最後に、収穫後の放射能検査について、訪問した3県のJA職員から、放射能検査を実施し「検出せず」の結果を得ていることの確認を行い、安全・安心なお米であることを確信し、生産地訪問を終えることができました。

本会では毎年、学校に納品された米をサンプリングし残留農薬検査、DNA検査、重金属検査(カドミウム)、生菌検査を行っておりますが、今年も新米を供給する前に放射能検査を実施し、「検出せず」の結果を得ているところです。今後も皆様が安心してお使いいただけるお米を供給してまいりますので、どうぞご利用ください。